

統計グラフコンクール審査講評

平成26年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計54点の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データの理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方を重点に審査しました。

その結果、特選4点、入選6点、佳作3点、合計13点を入賞作品として決定しました。

第1部 小学校1・2年生の作品

第1部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作1点の合計3点が入賞しました。

「あさがおのたねしらべ」は、ふさの中の種の数を1くぎりの棒のようにすることにより、絵グラフから棒グラフへのつながりを感じます。「がっこう大すき」は、学級で調べたアンケートをもとにグラフを作っています。絵グラフのマスを区切って分かりやすく工夫しています。「さいころのごうけいは？」は、絵グラフでは、違う色を使って、合計数が同じでもさいころが同じ数が出たことと違う数が出たことをわかりやすく示しています。

これからも身の回りのいろいろなことに興味を持って、その変化の様子を分かりやすくグラフに表してください。

第2部 小学校3・4年生の作品

第2部の作品の中から、特選1点、入選2点の合計3点が入賞しました。

「すごいな！！消防署！！」は、絵グラフの救急自動車の絵を、一つ一つ手書きして、より一層すばらしい作品に仕上げています。「野菜のさいばい」は、枝豆を絵グラフにして、一つのグラフでたくさんの方が分かるように工夫しています。「カブトムシのじゅ命について」は、日々の観察の結果をグラフに表し、グラフを通してカブトムシを大切に育てた様子がわかります。

どの作品も観察や作成に時間をかけた様子がうかがえます。

第3部 小学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作1点の合計4点が入賞しました。

「大丈夫なん？避難所の数」は、作品の構成がすばらしく、美しい作品に仕上がっています。「夢調査」は、アンケートをもとにグラフを作っています。男女の数を左右にするなど工夫が見られます。「生態系の逆襲」は、テーマがおもしろく、人間と比較してグラフを作り分かりやすく仕上げられています。「知ってる？台風の怖さ」は、グラフを立体的に見えるようにするなど、興味を引くように作成しています。

第3部の作品は、惜しくも入賞を逃しましたが、様々なテーマでの取組があり、すばらしい作品が多く見られました。

第4部 中学生の作品

第4部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作1点が入賞しました。

「生活習慣病予防 今、おやつを見直す時！」は、アンケート調査をもとに、いろいろなグラフを用途に応じて巧みに使い分けています。表題の書き方にも工夫が見られます。

「これからどうすればいいのか？日本の環境問題と対策」は、手作り感があふれ、丁寧に作っています。グラフから読み取れることを表記し、さらに考察が適切です。「危険ドラッグ被害急増」は、最近の社会問題になっていることをテーマにしています。色の使い方でイメージを膨らませています。

今後も、社会や経済、環境問題等について問題意識を持って調査し、それらを適切にグラフ化して、より理解されやすい工夫をしてください。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部の中からは、残念ながら入賞作品がありませんでした。

パソコン機能を十分活用するとともに、必要により手書き、彩色により見る人に楽しく、興味を持たれるように創意工夫することが必要です。

以上、各部門ごとに入賞作品を中心に感想をまとめました。これからも、身の回りの問題から社会・経済・環境問題まで興味や問題意識を持ったことを訴えるために、調査し、グラフ化することに取り組んでほしいと思います。

次回も多数応募されることを期待しています。